

# 2019年3月期 第2四半期 決算説明会資料

2018年10月31日@ステーションコンファレンス東京  
7741.T [ADR: HOCOPY US] HOYA株式会社

# 1. 決算概要 [代表執行役CFO 廣岡 亮]

2. 情報・通信事業概況

3. ライフケア事業概況

4. 総括

5. 質疑応答

# 業績概況

(億円)	Q2 FY17	Q2 FY18	YoY	YoY(%)
売上収益	1,358	1,420	+62	+5%
税引前四半期利益	329	384	+55	+17%
四半期利益	268	312	+45	+17%
cf. 通常の営業活動 からの利益	335	382	+47	+14%

売上収益/税引前利益/四半期利益の記録を更新

# 為替換算の影響

(億円)	前期レート 換算(A)	当期レート 換算(B)	為替換算 影響額	実質 YoY	実質 YoY(%)
売上収益	1,427	1,420	-7	+69	+5%
税引前四半期利益	380	384	+4	+52	+16%
四半期利益	309	312	+4	+41	+15%

主要通貨	(A)Q2 FY17 レート	(B)Q2 FY18 レート	変動率
US\$	¥111.17	¥111.88	-0.6%(円安)
EURO	¥131.28	¥130.54	+0.6%(円高)
BAHT	¥3.34	¥3.40	-1.8%(円安)

# 特殊要因について

## 包括利益計算書

(億円)	Q2 FY17	Q2 FY18	YoY	
収益合計	1,364	1,438	+74	1
費用合計	1,036	1,054	+18	2
税引前四半期利益	329	384	+55	

1 子会社の売却により「その他の収益」が8億円増加したこと等により、収益合計は売上収益以上に伸張した。

2 前年度ほぼ発生していなかった為替差損益が、今期は為替差損が8億円発生、費用全体では18億円の増加となった。

# ライフケア事業 業績概況

(億円)	Q2 FY17	Q2 FY18	YoY	YoY(%)
売上収益*	881	919	+38	+4%
税引前四半期利益	145	170	+25	+17%
cf.通常の営業活動 からの利益	154	187	+33	+21%
cf. 同利益率	17.5%	20.3%	+2.8pt	

\*外部売上の数値

# ライフケア事業 業績概況(為替影響除き)

## Q2 FY18業績の前期レート換算との比較

(億円)	前期レート 換算	当期レート 換算	為替換算 影響額	実質 YoY	実質 YoY(%)
売上収益*	927	919	-8	+47	+5%
税引前四半期利益	167	170	+3	+22	+15%
cf.通常の営業活動 からの利益	186	187	+1	+32	+21%

\*外部売上の数値

# 情報・通信事業 業績概況

(億円)	Q2 FY17	Q2 FY18	YoY	YoY(%)
売上収益*	468	490	+22	+5%
税引前四半期利益	194	217	+22	+12%
cf.通常の営業活動 からの利益	192	209	+17	+9%
cf. 同利益率	41.0%	42.7%	+1.7pt	

\*外部売上の数値

# 情報・通信事業 業績概況(為替影響除き)

## Q2 FY18業績の前期レート換算との比較

(億円)	前期レート 換算	当期レート 換算	為替換算 影響額	実質 YoY	実質 YoY(%)
売上収益*	488	490	+1	+20	+4%
税引前四半期利益	216	217	+1	+22	+11%
cf.通常の営業活動 からの利益	209	209	+1	+16	+9%

\*外部売上の数値

# サブセグメント別業績

## ヘルスケア関連製品 売上収益 メガネレンズ/コンタクトレンズ

(億円)	Q2 FY17	Q2 FY18	YoY	YoY(%)
売上収益*	671	706	+35	+5%

### 為替換算影響除き

(億円)	前期レート換算	当期レート換算	実質YoY	実質YoY(%)
売上収益*	714	706	+43	+6%

\*外部売上の数値

# サブセグメント別業績

## メディカル関連 内視鏡 / 眼内レンズ

(億円)	Q2 FY17	Q2 FY18	YoY	YoY(%)
売上収益*	210	213	+3	+1%

## 為替換算影響除き

(億円)	前期レート換算	当期レート換算	実質YoY	実質YoY(%)
売上収益*	213	213	+4	+2%

\*外部売上の数値

# サブセグメント別業績

## エレクトロニクス関連 マスク&ブランクス / HDD基板

(億円)	Q2 FY17	Q2 FY18	YoY	YoY(%)
売上収益*	352	381	+29	+8%

### 為替換算影響除き

(億円)	前期レート換算	当期レート換算	実質YoY	実質YoY(%)
売上収益*	379	381	+27	+8%

\*外部売上の数値

# サブセグメント別業績

映像関連製品  
カメラレンズほか

(億円)	Q2 FY17	Q2 FY18	YoY	YoY(%)
売上収益*	116	109	-7	-6%

為替換算影響除き

(億円)	前期レート換算	当期レート換算	実質YoY	実質YoY(%)
売上収益*	109	109	-7	-6%

\*外部売上の数値

# 貸借対照表

(億円)	Q1 FY18	Q2 FY18	QoQ
非流動資産	2,305	2,378	+74
流動資産	4,317	4,794	+477
資本	5,473	5,918	+445
非流動負債	158	160	+2
流動負債	990	1,094	+103
合計	6,621	7,172	+551

1 現金及び現金同等物 +261億円  
その他の短期金融資産 +116億円

# キャッシュフロー計算書

(億円)	Q2 FY17	Q2 FY18	YoY
営業活動によるCF	397	401	+4
投資活動によるCF	-609	-196	+413 <span>1</span>
財務活動によるCF	-539	3	+542 <span>2</span>
現金及び現金同等物 期末残高	2,316	2,523	+207

1

大型買収案件があった前期と比較し、投資活動によるキャッシュアウトが大幅に減少

2

社債の償還（350億円）があった前期と比較し、財務活動によるキャッシュアウトが大幅に減少

1. 決算概要

**2. 情報・通信事業概況** [執行役COO/CTO 池田 英一郎]

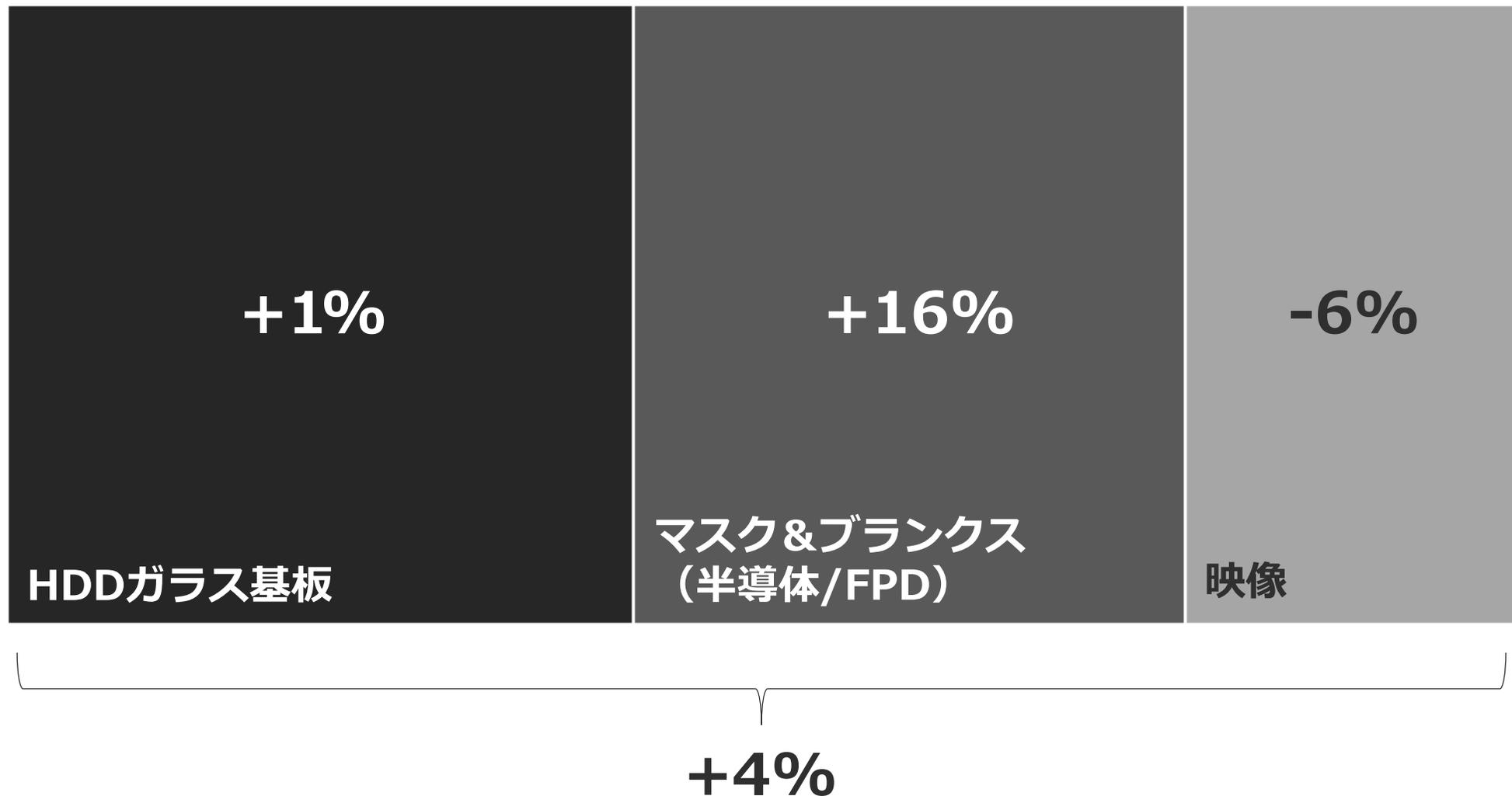
3. ライフケア事業概況

4. 総括

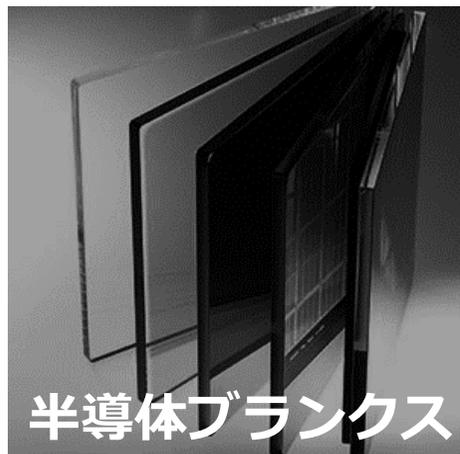
5. 質疑応答

# 情報・通信事業概況

売上増減率（為替影響除き）



# 製品別概況

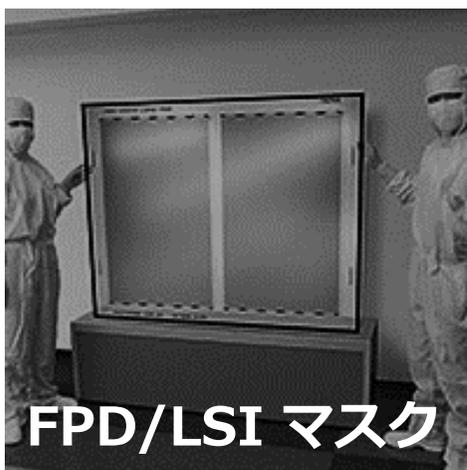


## 足元

EUVが前期比倍増、売上比率が21%に  
DUV(Optical)も先端品がけん引し、好調

## 今後

EUVを中心に継続拡大  
2020年の量産ライン稼働に向けた準備を開始



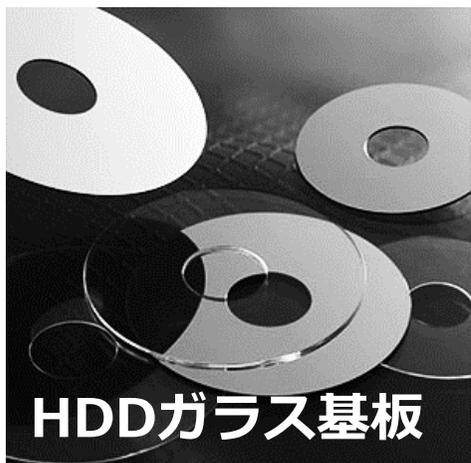
## 足元

G6を中心とした旺盛なスマホ向けマスクの開  
発需要を取り込み増収。高精細品も順調

## 今後

高い水準が継続しているG8以下のマスク需  
要を着実に取り込んでいく

# 製品別概況

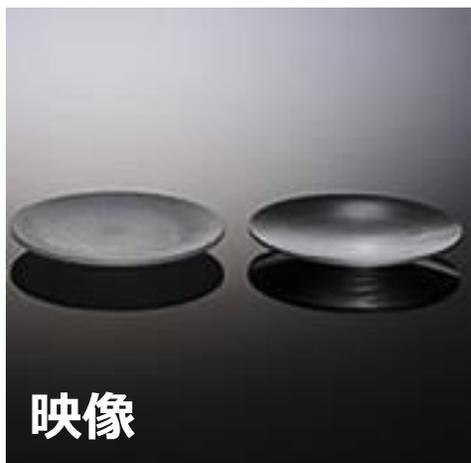


## 足元

SSD侵食等により2.5"が減収も、データセンター用3.5"が拡大(3.5"比率18%)し、全体成長

## 今後

引き続き3.5"の売上拡大を見込む。新工場の2020年稼働開始を目指す



## 足元

コンデジの縮小を補っていた監視カメラレンズが中国での投資停滞や貿易摩擦等により減収

## 今後

新規用途におけるレンズ販売を引き続き図る

1. 決算概要

2. 情報・通信事業概況

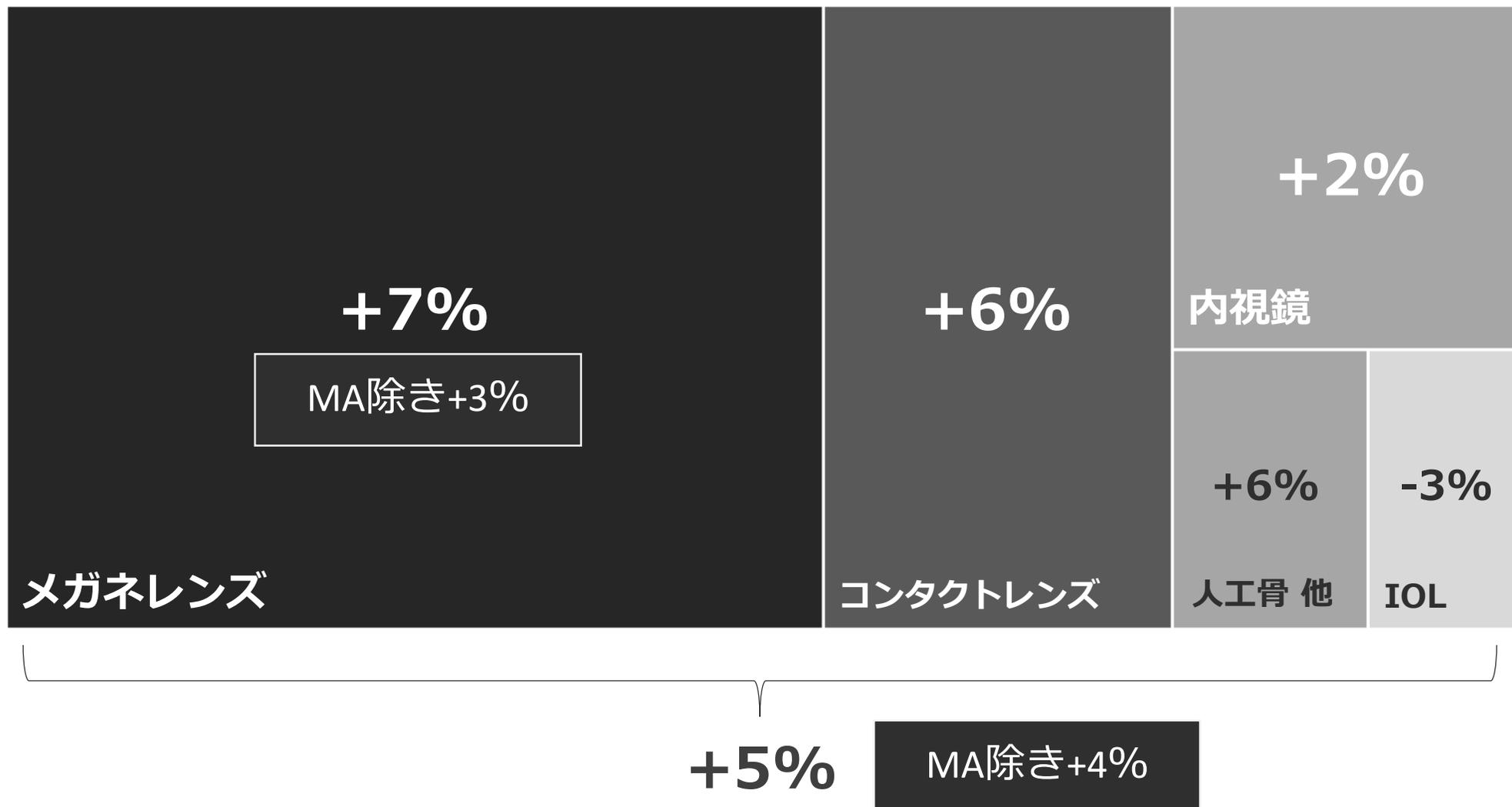
**3. ライフケア事業概況 [代表執行役CEO 鈴木 洋]**

4. 総括

5. 質疑応答

# ライフケア事業概況

売上増減率（為替影響除き）



# 製品別概況



## 足元

Q1での大型契約効果等により米州が2桁成長。  
PMIが概ね完了、収益性がさらに向上

## 今後

Performance Optics社とのセールスシナジー  
による米州での成長加速を目指す



## 足元

既存店が堅調に推移。  
期末店舗数 278店（新規2/閉店0）

## 今後

下期以降、新規出店の加速を図っていく

# 製品別概況

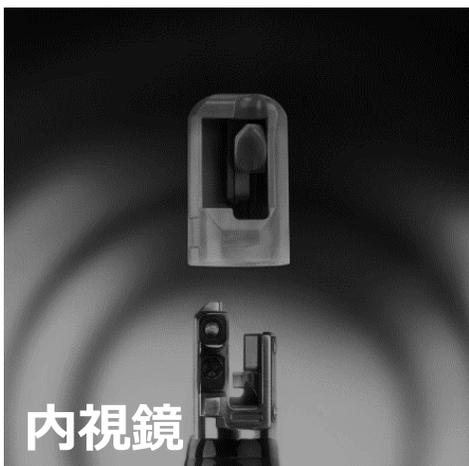


## 足元

アジアの代理店チャネルにおける在庫の適正化等により減収

## 今後

代理店チャネルのてこ入れと直接販売の検討。  
Mid Labs/Fritz Ruckの買収とPMI



## 足元

体制強化が奏功し、欧米での販売好調が継続

## 今後

ハイエンドから新興市場向けの低価格帯製品まで、新製品を順次発売し売上拡大を図る

1. 決算概要
2. 情報通信事業概況
3. ライフケア事業概況
- 4. 総括 [代表執行役CEO 鈴木 洋]**
5. 質疑応答

# 総括

## FY18 注力ポイント

### ライフケア

- メガネレンズのM&Aシナジーなどによる成長加速
- 20%の利益率の安定達成

### 情報・通信

- blanks や HDD 基板の着実な成長
- 収益水準の高位安定

資金

資金

資金

資金

## 投資の方向性

IOL: Mid Labs/Fritz Ruck 買収(年度内)  
約192億円

成長加速のためのM&Aを常時探索

EUV blanks 製造ライン(2020～)  
250億円前後

3.5" 基板新工場(2020～)  
300億円前後

自社株買いなどを通じ、株主に還元

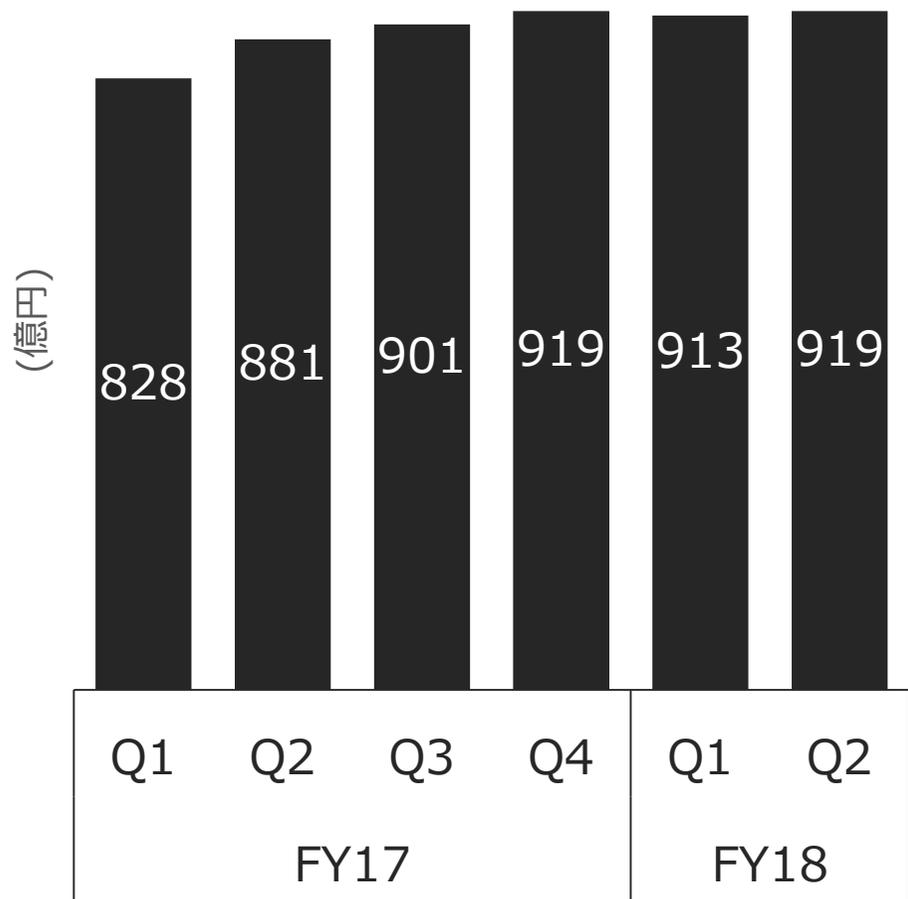
余剰資金

1. 決算概要
2. ライフケア事業概況
3. 情報・通信事業概況
4. 総括
- 5. 質疑応答**

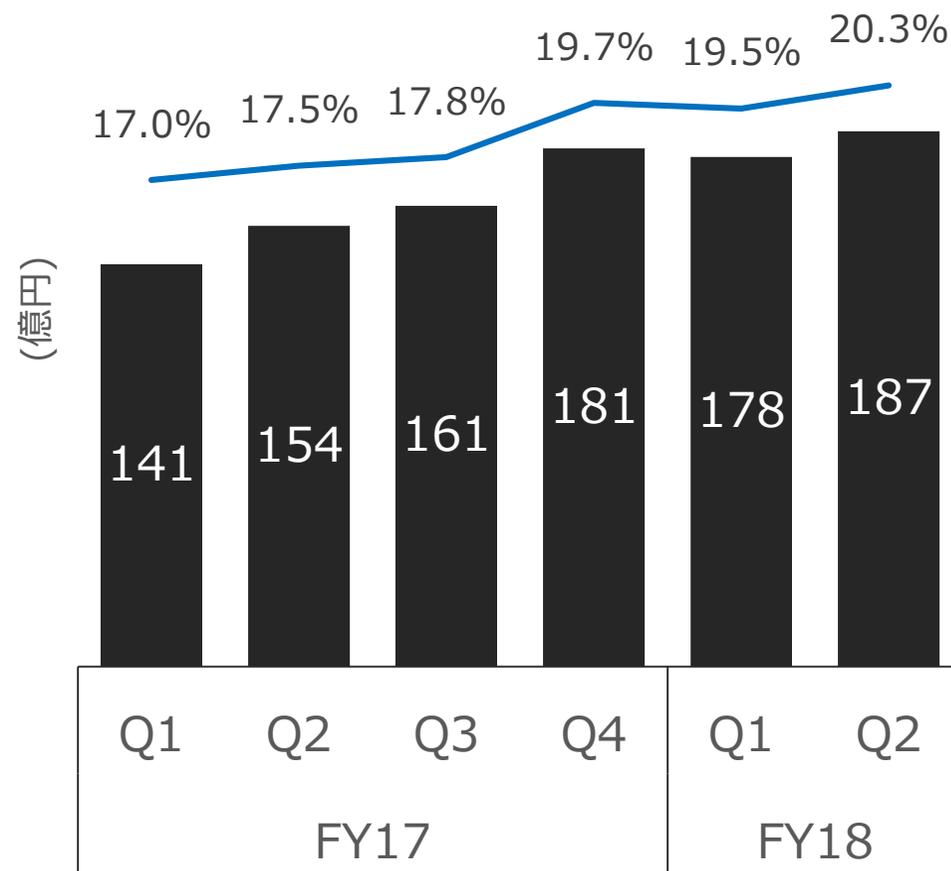
# Appendix

# ライフケア事業 QoQ推移

## 売上収益



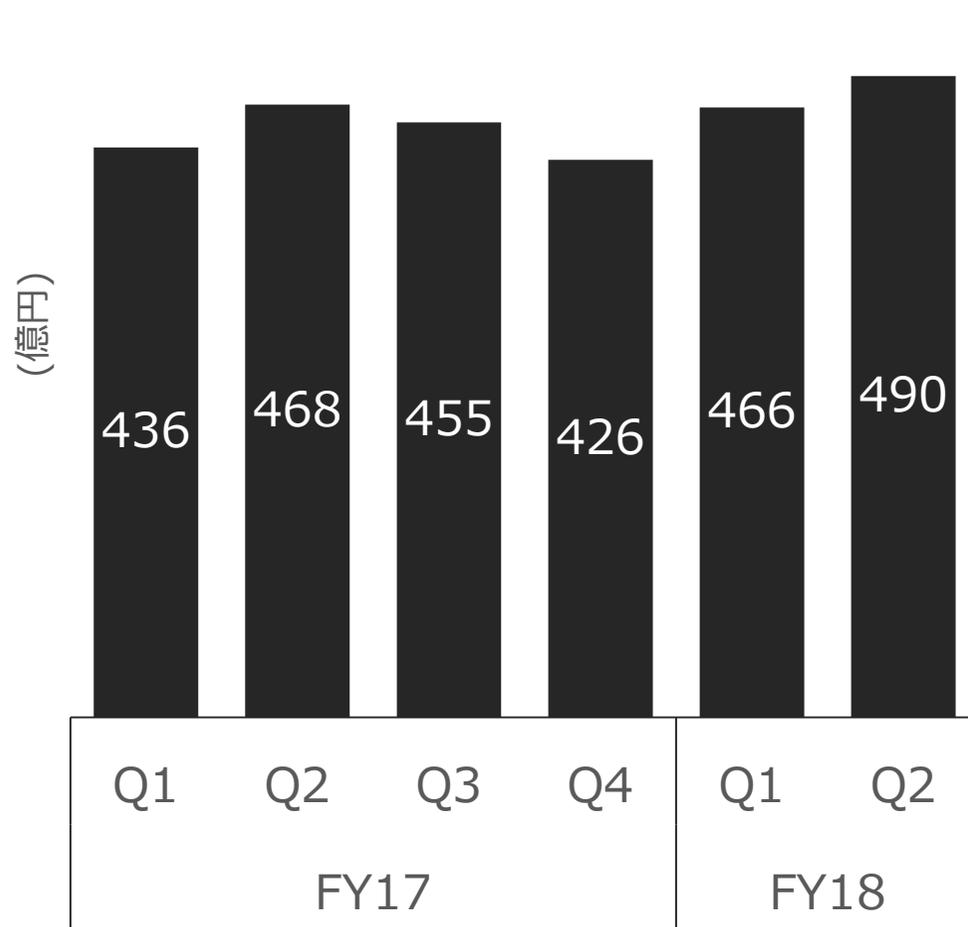
## cf. 通常の営業活動からの利益 / 率



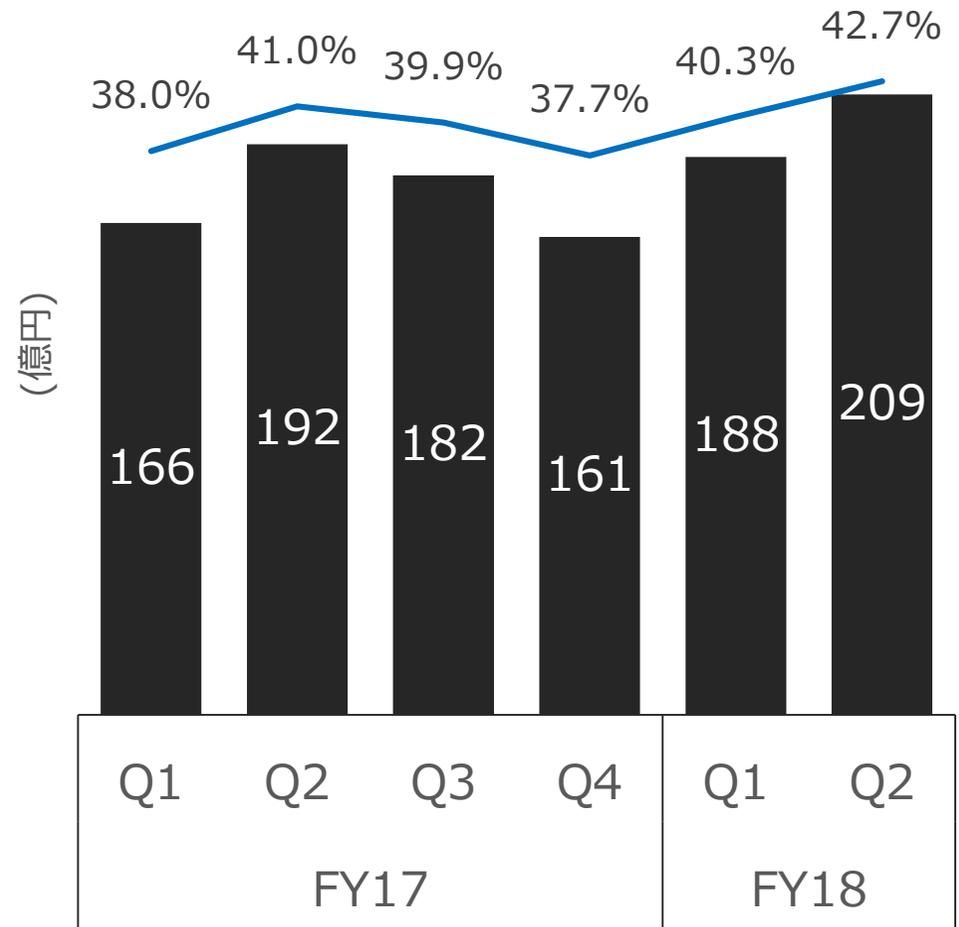
\*外部売上の数値

# 情報・通信事業 QoQ推移

売上収益



cf. 通常の営業活動からの利益 / 率



\*外部売上の数値

# 本資料の表記について

---

- ✓ 当社は国際会計基準（IFRS）を適用しています。
- ✓ 2018年4月～2019年3月の会計期間を2019年3月期もしくはFY18と表記しています。
- ✓ 第1四半期、第2四半期、第3四半期、第4四半期をそれぞれQ1, Q2, Q3, Q4と表記しています。
- ✓ 億円未満の金額は四捨五入しており、そのため合計値が合わない場合があります。  
%は実際の金額を基に算出しています。
- ✓ 通常の営業活動からの利益は、税引前利益から金融収益・費用、持分法投資損益、為替差損益及び非経常的に発生する損益等を除いて算出している参考値です。
- ✓ 本資料の財務諸表は明細を割愛しています。詳細な財務情報は決算短信もしくは決算短信補足資料をご覧ください。  
<http://www.hoya.co.jp/investor/kessan.html>

# 免責事項

---

本資料は、当社の評価を行うための参考となる情報提供のみを目的としたものです。投資等の最終決定は、ご自身の判断でなさるようお願いいたします。投資の結果等に対する責任は負いかねますのでご了承下さい。当資料に掲載されている将来に関する記述の部分は、資料作成時点の判断ですが、その内容の完全性・正確性を会社として保証するものではありません。